

4°C

株式会社4°Cホールディングス 第64期第2四半期株主通信

holdings group

(2013年3月1日から2013年8月31日まで)



代表取締役社長 鈴木 秀典

株主の皆様へ

～ すべてはお客様の“笑顔”や“ときめき”のために ～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。

2013年度第2四半期の総括

2014年2月期第2四半期の連結業績は、第1四半期の出店集中や店舗の什器変更による経費の増加、円安による原価上昇の影響等をふまえ、当初より増収減益の計画を立てておりました。その結果、当第2四半期の営業収益は前年同期比0.1%増、営業利益は同3.3%減、経常利益は同1.5%減、四半期純利益は同23.9%増と計画通りに推移しています。四半期純利益は大幅増益となり、第2四半期累計期間として過去最高を更新しました。

事業会社別にみると、エフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、「4°C」(ヨンドシー)ジュエリーにて什器内プロト変更を行ったほか、「4°C BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)や「canal 4°C」(カナルヨンドシー)にて積極的な出店拡大を推し進めました。アスティグループは、急激な円安による原価の高騰により利益を圧迫しました。(株)三鈴は、積極的な販促活動と単品強化に取り組みましたが、主力ブランドが苦戦しました。(株)アーजूは、主力の「パレット」における夏物企画商品の売れ行きが好調でした。

新社名のもと、通期業績計画の達成と更なる成長に向けて邁進

すでにご案内のように、2013年9月1日をもちまして(株)F&A アクアホールディングスから(株)4°Cホールディングスへと社名を変更しました。小売業が主体となった今、これまで以上にお客様から認知される企業に変化していくことで、「企業価値の向上」と「企業の永続性」を追求してまいります。

当社は、「Challenge & Progress(挑戦と躍進)」をテーマに掲げた第3次中期経営計画の2年目として、上期も事業ごとの重点施策に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期終了時点では、通期の連結業績は当初計画と変更なく増収増益を見込んでいます。特に営業利益、経常利益、当期純利益は、前期に引き続き過去最高を

更新する見通しです。

景気回復基調の中、個人消費は本格的な回復に至らず、消費税増税が決定するなど先行き不透明感が残っています。こうした状況の中、下期においても当社グループは新規出店や新業態開発、各ブランド商品開発力の強化により、新しい事業機会の創造に取り組んでまいります。さらに、4°Cブランドの価値向上のための投資として、最大の商戦であるクリスマスに向け、今年もテレビCMを実施する計画です。また、M&Aも引き続き検討していきます。同時に、海外生産や人材育成等、グループ内での連携を進めて組織力を強化することにより、第3次中期経営計画のビジョンの実現を目指してまいります。

第3次中期経営計画の基本方針 (2013年2月期～2015年2月期)

事業ビジョン

- | | |
|---|-------------------|
| 1 エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大 | 5 海外戦略の推進 |
| 2 アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上 | 6 EC事業の拡大 |
| 3 (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立 | 7 「4°C」ブランドの価値向上 |
| 4 (株)アーजूにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上 | 8 各グループ子会社の利益体質強化 |

組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進

数値ビジョン (2015年2月期) 目標

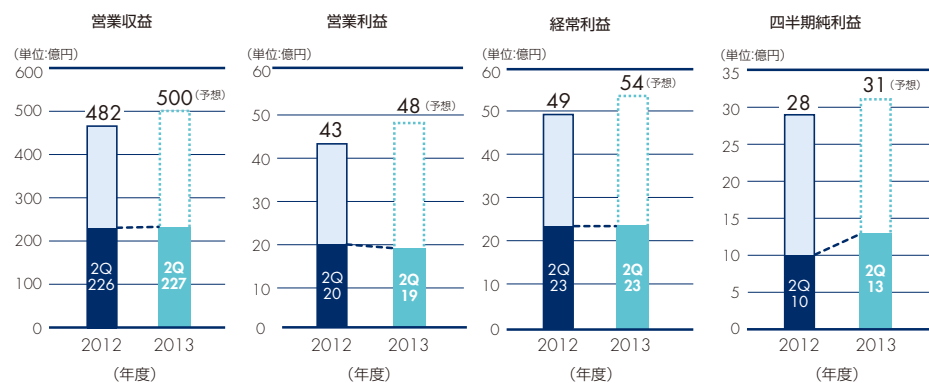
| | |
|-------|-------|
| 連結売上高 | 530億円 |
| 経常利益率 | 11.3% |
| ROE | 7.6% |

2013年度第2四半期(3月～8月)連結決算概要

2014年2月期第2四半期連結業績

- 増収、営業利益、経常利益は計画通りに推移。
- 四半期純利益は第2四半期累計期間では過去最高を更新。
- 2014年2月期の通期連結業績は、当初計画通り増収増益、各利益ともに過去最高を更新予定。

| 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 227億円 (前年同期比 +0.1%) | 19億円 (前年同期比 △3.3%) | 23億円 (前年同期比 △1.5%) | 13億円 (前年同期比 +23.9%) |



セグメント情報

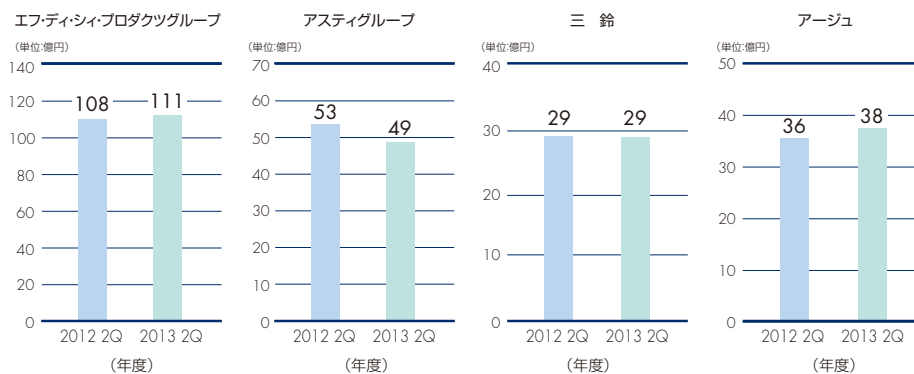
- エフ・ディ・シー・プロダクツグループは、出店拡大により増収。営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高を更新。
- アスティグループは、円安による原価上昇と子会社の事業縮小により減収減益。
- 三鈴は夏のセールスの不振等により、減収減益。
- アージュは増収となるも、経費の増加により減益。

事業区分別業績

| | 営業収益 (単位:百万円) | | | セグメント利益 (単位:百万円) | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|----------|-------------------|-------------------|----------|
| | 2013年2月期 第2四半期 | 2014年2月期 第2四半期 | 前年同期比(%) | 2013年2月期 第2四半期 | 2014年2月期 第2四半期 | 前年同期比(%) |
| エフ・ディ・シー・プロダクツグループ | 10,796 | 11,148 | +3.3 | 1,620 | 1,718 | +6.1 |
| アスティグループ | 5,281 | 4,859 | △8.0 | 461 | 325 | △29.6 |
| 三鈴 | 2,932 | 2,869 | △2.1 | 1 | △89 | — |
| アージュ | 3,615 | 3,778 | +4.5 | 73 | 58 | △20.7 |

注1：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。 注2：外部顧客に対する営業収益を表示しています。

事業区分別営業収益



トピックス

4°Cジュエリー クリスマス限定商品

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2013年4°Cクリスマスのコレクションテーマは「KALEIDOSCOPE～万華鏡～」。万華鏡が織りなす一瞬の奇跡に、わくわく胸を躍らせながら夢中で覗いた幼い頃の記憶…恋人達の“ときめき”と“かけがえのない時”を、万華鏡のイメージに重ねて表現しました。

そして、メインコレクションとなるクリスマス限定商品のテーマは「Piece of Shining～輝きのかけら～」。出逢えた奇跡、ふたりで過ごすかけがえのない瞬間…その一瞬一瞬は、キラキラと輝くかけら(ピース)となり心の中を美しく廻る。まるで万華鏡の世界のように輝きにあふれた時間が、この先もゆっくりと美しくカタチを変えながら続いていきますように。そんな願いをぎゅっと閉じ込めた限定ジュエリーです。



万華鏡をイメージした2013年4°Cクリスマス限定商品

deux et deux1号店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

ブライダル専門店業態の新ブランドである「deux et deux」(ドゥ・エドゥ)が、2013年9月20日、弘前駅前の「ヒロロ」1階に出店いたしました。4°Cのモノづくりへのこだわりや、おもてなしの精神を受け継いで、自分達らしいウェディングをイメージする二人のために、最適で、最良なブライダルジュエリーを提供するブランドを目指します。2013年度の出店は、弘前店を含め3店舗を計画しています。



deux et deux弘前ヒロロ店

詳しくはこちらのサイトをご覧ください。 <http://www.deuxetdeux.jp/>

「FDCフレンズカレッジ」開設

株式会社エフ・ディ・シー・フレンズ

池袋駅西口から徒歩10分、8月にオープンした4°C BRIDAL池袋店の上に、教育施設「FDCフレンズカレッジ」が開設されました。接客の研修ができる仮想店舗の設備を備えており、より実践的な訓練を行える環境を有効活用することで、新人ファッションアドバイザーの販売力の早期育成を図ることを目的としています。基礎的なマナーからブライダルの専門的な知識まで、一日でも早くお客様にご満足いただける接客ができるよう、幅広い教育を実施しています。



「FDCフレンズカレッジ」研修風景

Rew de Rew立川店リニューアルオープン

株式会社三鈴

2013年9月5日、「Rew de Rew」(ルウデルウ)のルミネ立川店を花と緑で彩る新コンセプト店へとリニューアルしました。ブランドコンセプトである「上品、安心、オトナ可愛い」に沿って、内装のキーコンテンツに「女性にとって永遠の定番」である花を選び、これまでの三鈴にはなかった店作りをチャレンジしました。



Rew de Rewルミネ立川店

パレット楽々園店リニューアルオープン

株式会社アージュ

2013年9月20日、パレット楽々園店をリニューアルオープンしました。「お客様に優しい売場創り」をテーマに、『通路幅の拡張』、『紳士ヤング、服飾・履物、インテリアの品揃えの拡大』、『商品のコーディネート提案の増設』を行いました。



パレット楽々園店

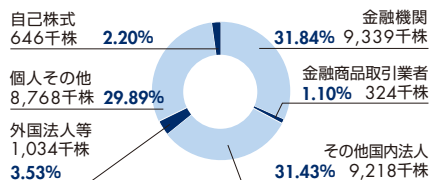
株主情報

株式情報 (2013年8月31日現在)

| | |
|---------|-------------|
| 発行済株式総数 | 29,331,356株 |
| 1単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 7,333名 |

株式分布状況 (2013年8月31日現在)

■所有者別株式分布

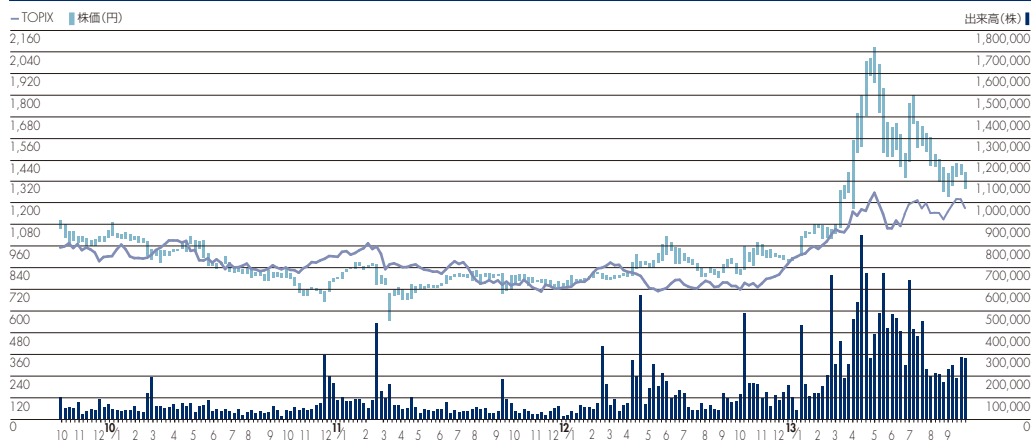


平成25年10月1日より証券取引所の所属区分が卸売業から小売業へと変更となりました。なお、証券コードは「8008」にて変更ありません。

「2012年度 株主優待」における寄付のご報告

今年度は、155名の株主様より、合計402,000円を日本水フォーラムへ寄付させていただきました。謹んで御礼申し上げます。

株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

大株主 (2013年8月31日現在)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%) |
|---------------------------|-------------|--------------------------------|
| 株式会社フジ | 5,224 | 17.81 |
| 株式会社広島銀行 | 1,424 | 4.86 |
| 第一生命保険株式会社 | 1,254 | 4.28 |
| F&Aアクア共栄会 | 966 | 3.29 |
| 株式会社三井住友銀行 | 781 | 2.66 |
| 株式会社伊予銀行 | 739 | 2.52 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 661 | 2.25 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 483 | 1.65 |
| 株式会社もみじ銀行 | 477 | 1.63 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 458 | 1.56 |

注:当社は自己株式646,498株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

会社概要 (2013年9月1日現在)

| | |
|-------|--|
| 社名 | 株式会社4℃ホールディングス (英文)YONDOSHI HOLDINGS INC. |
| 所在地 | 〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10 |
| 設立年月日 | 1950年5月18日 |
| 資本金 | 24億8,652万円 |
| 事業内容 | ジュエリーを中心とするブランド事業 アパレル・バッグを中心とした 企画・製造・卸売事業および小売事業 |
| 連結子会社 | 10社 |

株主メモ

| | |
|------------|---|
| 決算期日 | 毎年2月末 |
| 定時株主総会 | 毎年5月 |
| 配当金支払株主確定日 | 毎年2月末、毎年8月末(中間配当) |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 同事務取扱場所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 公告 | (公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 証券コード | 8008 |

株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先
☎ 0120-232-711 オペレーター対応/受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

各種手続き用紙のご請求
☎ 0120-244-479 音声自動応答/24時間受付

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。

IRお問い合わせ先

業務部 総務課

TEL: 03-5719-3429

FAX: 03-5719-4462

E-mail:
ir-yondoshi@yondoshi.co.jp